

(0 5) 目 次

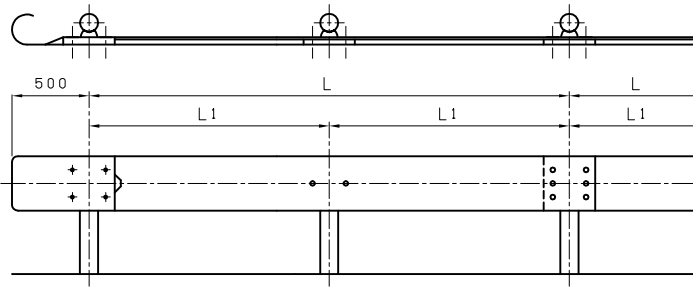
0 5 - 0 1 - 0 1	ガードレール 路側用 (耐雪型C種)
0 5 - 0 1 - 0 2	ガードレール 路側用 (耐雪型B種)
0 5 - 0 2 - 0 1	ガードケーブル 路側用 (耐雪型C種)
0 5 - 0 2 - 0 2	ガードケーブル 路側用 (耐雪型B種)
0 5 - 0 2 - 0 3	端末防護ガードレール (分離区間)(始点側・各タイプ共通)
0 5 - 0 2 - 0 4	端末防護ガードレール (非分離区間)(始点側・各タイプ共通)
0 5 - 0 2 - 0 5	端末防護ガードレール (終点側・耐雪型・B種用)
0 5 - 0 2 - 0 6	端末防護ガードレール (終点側・耐雪型・C種用)
0 5 - 0 3 - 0 1	ガードパイプ 歩車道境界用 (耐雪型C種)
0 5 - 0 3 - 0 2	ガードパイプ 歩車道境界用 (耐雪型B種)
0 5 - 0 4	ボックスビーム (標準型B種)
0 5 - 0 5	根固めブロック (耐雪型ガードレール、ガードケーブル用)
0 5 - 0 6 - 0 1	耐雪型パネル式転落防止柵寸法図(参考)
0 5 - 0 6 - 0 2	耐雪型ネットフェンス寸法図(参考)
0 5 - 0 6 - 0 3	耐雪型メッシュフェンス寸法図(参考)
0 5 - 0 6 - 0 4	転落防止柵 (横ビーム型、柵高1.1m)(土中建込)
0 5 - 0 6 - 0 5	転落防止柵 (横ビーム型、柵高1.1m)(プレキャストコンクリートブロック建込)
0 5 - 0 6 - 0 6	転落防止柵 (横ビーム型、柵高1.1m)(コンクリート建込)
0 5 - 0 6 - 0 7	横断防止柵 (横ビーム型、柵高0.8m)(土中建込)
0 5 - 0 6 - 0 8	横断防止柵 (横ビーム型、柵高0.8m)(プレキャストコンクリートブロック建込)
0 5 - 0 6 - 0 9	横断防止柵 (横ビーム型、柵高0.8m)(コンクリート建込)
0 5 - 0 6 - 1 0	根固めブロック (耐雪型、歩道用)
0 5 - 0 6 - 1 1	改良型ブラケットの形状、保護路肩路盤工

図面番号
名称

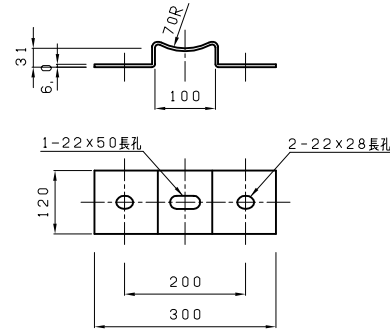
05-01-01
ガードレール 路側用
耐雪型 C種 土中用
構造物用
Gr-C2-3E
Gr-C3-2E
Gr-C2-2B
Gr-C3-2B

単位：mm

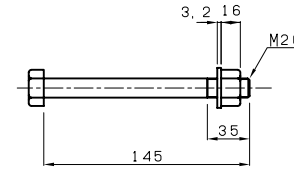
平面図・立面図



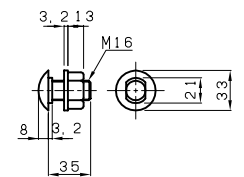
耐雪型ブラケット (SS400)



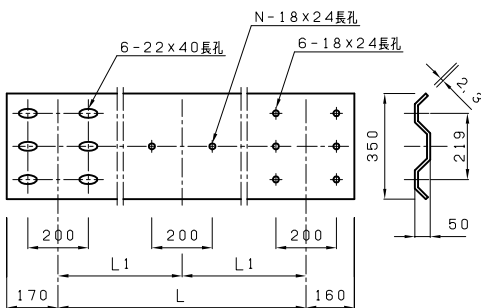
ブラケット取付用ボルト
・ナット・ワッシャー



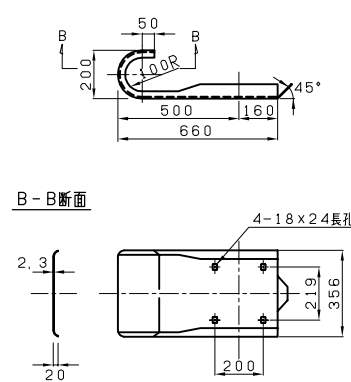
ビーム取付および継手用ボルト
・ナット・ワッシャー



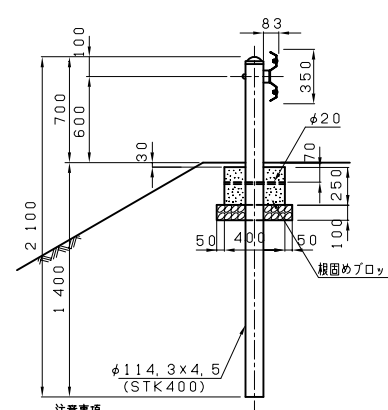
ビーム (SS400)



補ビーム (SS400)

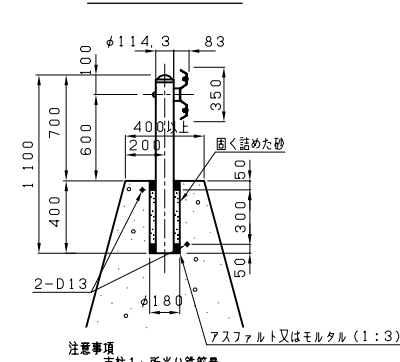


Gr-C2-3E
Gr-C3-2E



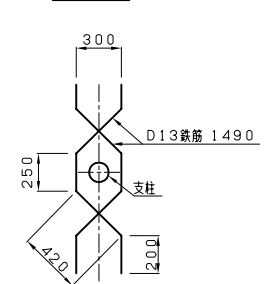
注意事項
・土の単位体積重量 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$

Gr-C2-2B
Gr-C3-2B



注意事項
・支柱1ヶ所当り鉄筋量
D13-2, 965kg/ヶ所

配筋



仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車面の最大 進入行程 (m)	車面重心加速度 ($\text{m/s}^2 / 10\text{ms}$)	仕様の適用範囲と留意事項			寸法表			備考
							形状・寸法 の変更	支持条件 の変更	施工上の 留意事項	L (mm)	L1 (mm)	N (本)	
Gr-C2-3E	C	45	路側用 耐雪型	図示	0.10	45	*1	*2	3000	—	—	*3 *4 *5	
Gr-C2-2B					0.00	66			4000	2000	2		
Gr-C3-2E					0.01	52			4000	2000	2		
Gr-C3-2B					0.00	66			4000	2000	2		

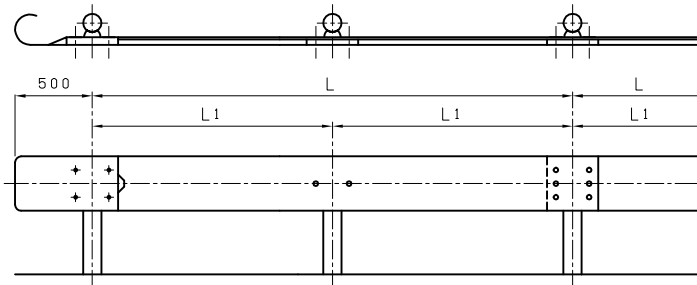
- *1 形状・寸法・支持条件の変更については、建設省通達、車両用防護欄標準仕様基準に準拠する。
- *2 切土斜面等でビームに作用する斜面雪圧力(グライド力)が大きくビームがねじられる可能性が高い場合には、ビーム補強金具の使用も検討する必要がある。
- *3 積雪ラックの決定の際は、必ず区と協議すること。
- *4 塗装仕上げによる場合は、めっき面に腐蝕亜鉛処理などの下地処理を行って塗装する。
この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302に示されているZ27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20 μm を確保すること。
- *5 溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、ガードレールはB種を用いること。

図面番号
名称

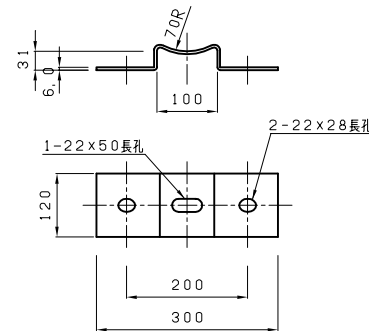
05-01-02
ガードレール 路側用
耐雪型 B種 土中用
構造物用
Gr-B2-4E
Gr-B3-3E
Gr-B2-2B
Gr-B3-2B

単位：mm

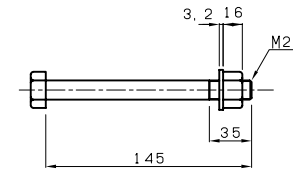
平面図・立面図



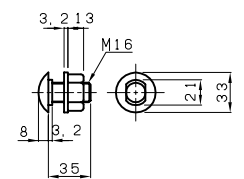
耐雪型ブラケット (SS400)



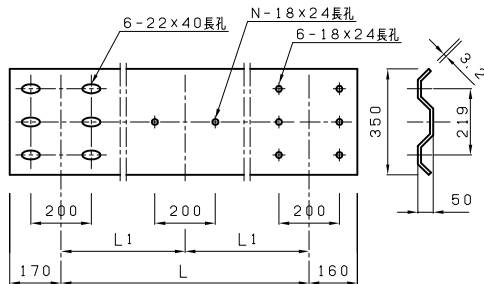
ブラケット取付用ボルト
・ナット・ワッシャー



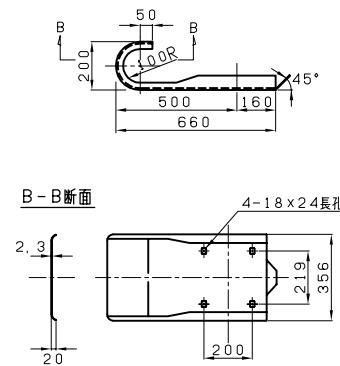
ビーム取付および継手用ボルト
・ナット・ワッシャー



ビーム (SS400)

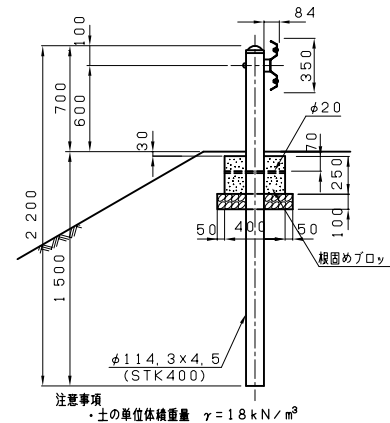


補ビーム (SS400)



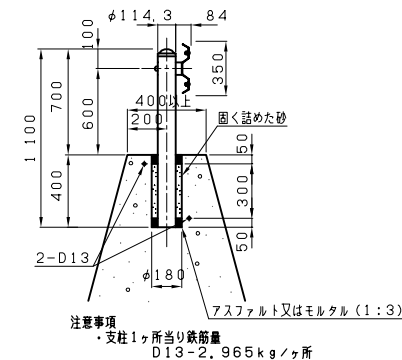
※溶融亜鉛メッキ仕上げの場合は、板厚を3.2mmとする。

Gr-B2-4E
Gr-B3-3E



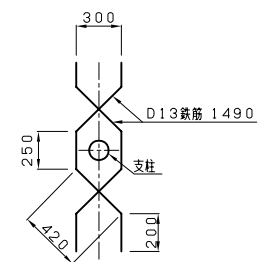
注意事項
・土の単位体積重量 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$

Gr-B2-2B
Gr-B3-2B



注意事項
・支柱1ヶ所当り鉄筋量
D13-2.965kg/ヶ所

配筋



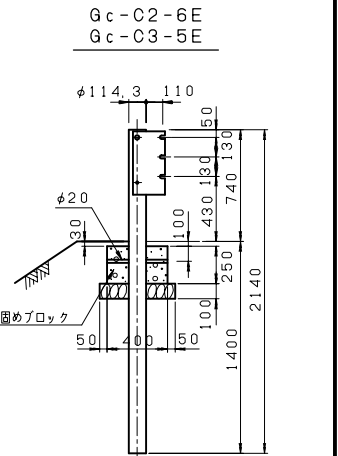
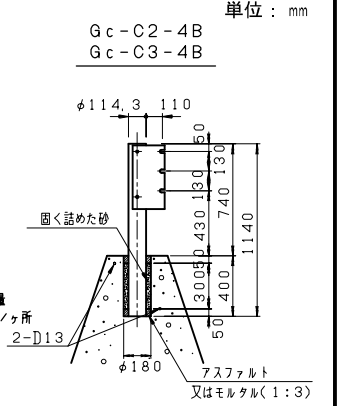
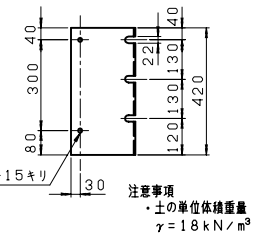
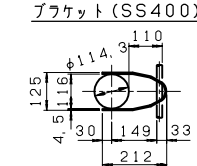
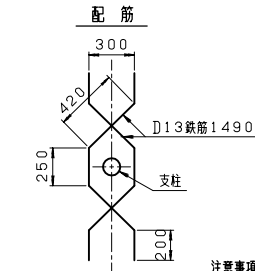
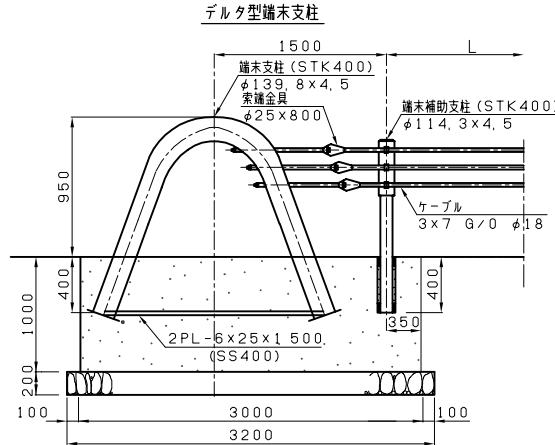
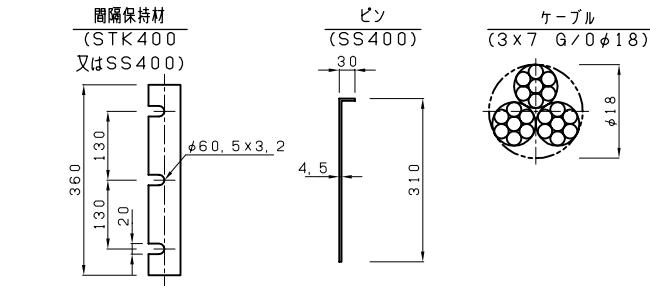
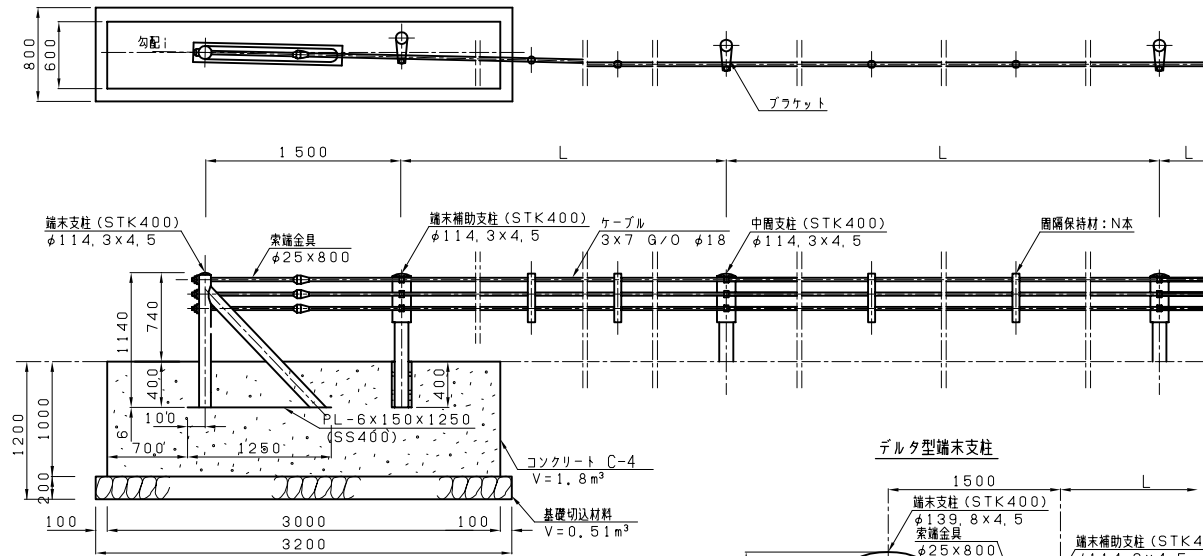
仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車両の最大進入行程 (m)	車両重心加速度 ($\text{m/s}^2 / 10\text{ms}$)	仕様の適用範囲と留意事項			寸法表			備考
							形状・寸法の変更	支持条件の変更	施工上の留意事項	L (mm)	L1 (mm)	N (本)	
Gr-B2-4E	B	60	路側用耐雪型	図示	0.15	45	※1	※2	4000	—	—	※3 ※4 ※5	
Gr-B2-2B					0.00	67			4000	2000	2		
Gr-B3-3E					0.09	46			3000	—	—		
Gr-B3-2B					0.00	67			4000	2000	2		

- ※1 形状・寸法・支持条件の変更については、建設省通達、車両用防護欄標準仕様に準拠する。
- ※2 切土斜面等でビームに作用する斜面雪圧力(グライド力)が大きくビームがねじられる可能性が高い場合には、ビーム補強金具の使用も検討する必要がある。
- ※3 積雪ワングの決定の際は、必ず区と協議すること。
- ※4 塗装仕上げによる場合は、めっき面に溶融亜鉛処理などの下地処理を行って塗装する。
この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302 Z27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20 μm を確保すること。
- ※5 溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ 55に準ずるものとする(金具類はHDZ 35)。

図面番号
名称

05-02-01
ガードケーブル 路側用
耐雪型 C種 土中用
構造物用
Gc-C2-6E
Gc-C3-5E
Gc-C2-4B
Gc-C3-4B

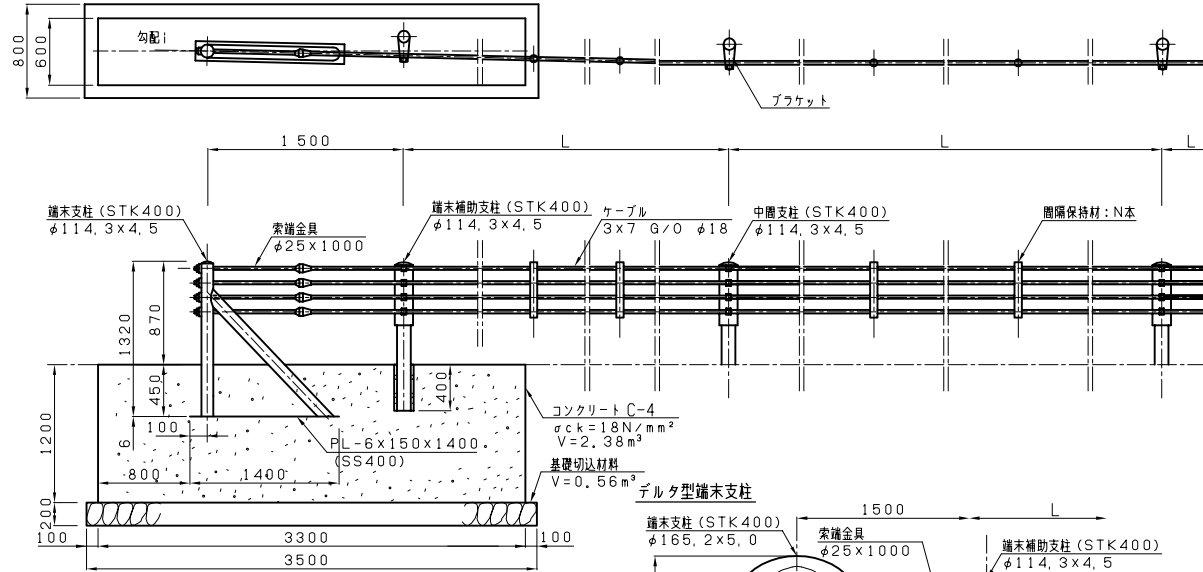
平面・立面図



仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車両の最大進入行程 (m)	車両重心加速度 (m/s ² /10ms)	仕様の適用範囲と留意事項			寸法表		備考
							形状・寸法の変更	支持条件の変更	施工上の留意事項	L (mm)	N (本)	
Gc-C2-6E	C	45	路側用耐雪型	図示	0.26	44	※1	※2	6000	2	1/70	※3 ※4 ※5
Gc-C2-4B					0.00	75			4000	1	1/50	
Gc-C3-5E					0.19	46			5000	2	1/60	
Gc-C3-4B					0.00	75			4000	1	1/50	

※1：形状・寸法・支持条件の変更については、建設省通達、車両用防護柵標準仕様等に準拠する。
 ※2：間隔保持材は1スパン当りN本を等間隔に設置する。
 ※3：積雪ワックの決定の際は、必ず区と協議すること。
 ※4：塗装仕上げによる場合は、めっき面に腐蝕亜鉛処理などの下地処理を行って塗装する。
 この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302 Z 27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20μmを確保すること。
 ※5：溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ 55に準ずるものとする（金具類はHDZ 35）。ケーブルについては、JIS G 3525に準ずる。

平面・立面図



図面番号
名称

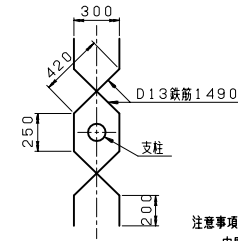
05-02-02

ガードケーブル 路側用
耐雪型 B種 土中用
//
構造物用
//

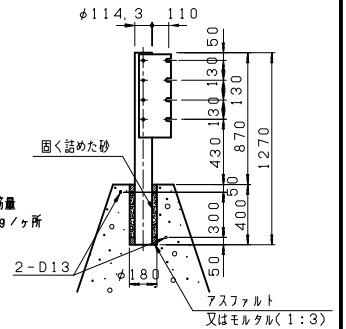
Gc-B2-6E
Gc-B3-5E
Gc-B2-4B
Gc-B3-4B

単位: mm

配筋

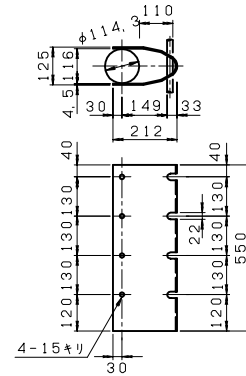


Gc-B2-4B
Gc-B3-4B

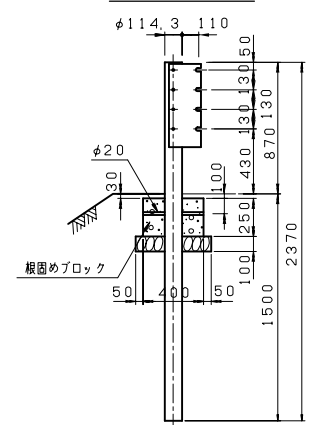


注意事項
・中間支柱1ヶ所当り鉄筋量
D13-2,965kg/ヶ所

ブラケット (SS400)



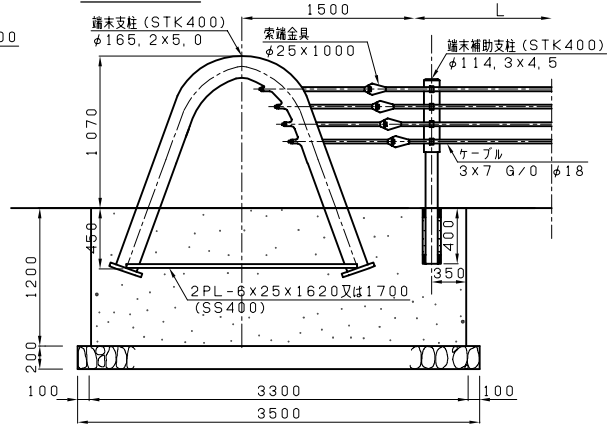
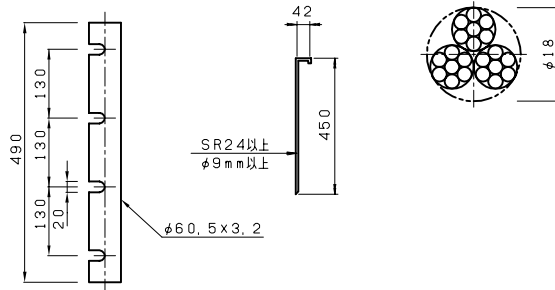
Gc-B2-6E
Gc-B3-5E



注意事項

・土の単位体積重量
 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$

間隔保持材 (STK400 又はSS400)
ブラケット用ピン (SS400)
ケーブル (3x7 G/0 φ18)



仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車面の最大進入行程 (m)	車面重心加速度 (m/s ² /10ms)	仕様の適用範囲と留意事項			寸法表		備考
							形状・寸法の変更	支持条件の変更	施工上の留意事項	L (mm)	N (本)	
Gc-B2-6E	B	60	路側用耐雪型	図示	0,24	50	※1	※2	6000	2	1/70	※3 ※4 ※5
Gc-B2-4B					0,00	75			4000	1	1/50	
Gc-B3-5E					0,18	52			5000	2	1/60	
Gc-B3-4B					0,00	75			4000	1	1/50	

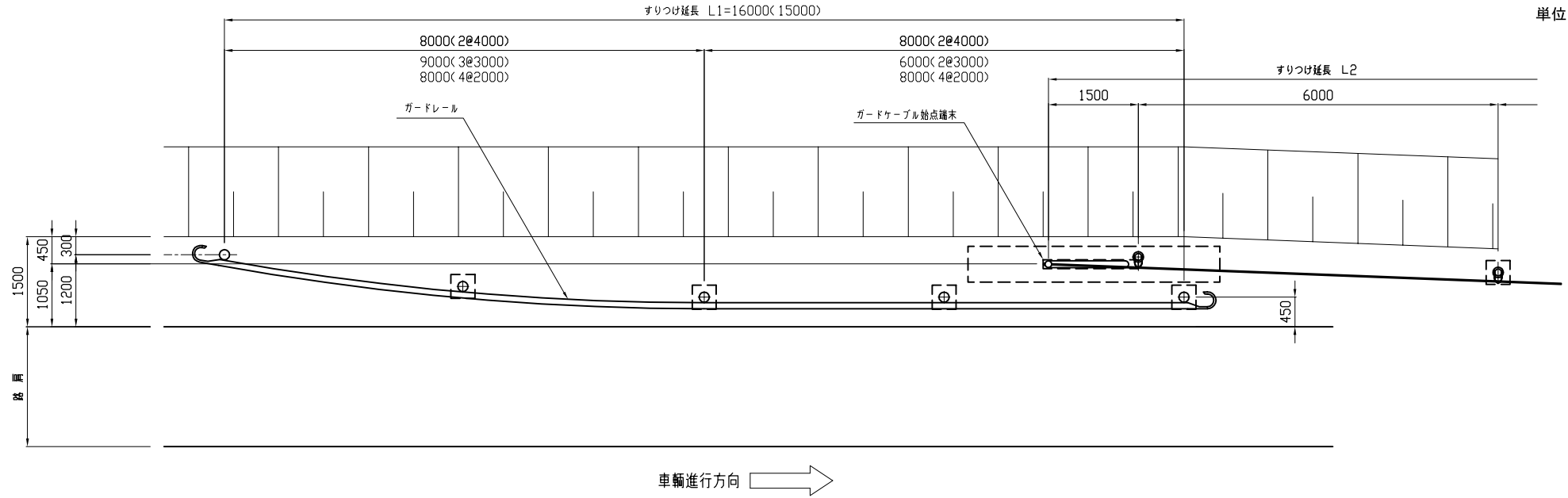
※1: 形状・寸法・支持条件の変更については、建設省通達、車両用防護柵標準仕様等に準拠する。
 ※2: 間隔保持材は1スパン当りN本を等間隔に設置する。
 ※3: 積雪フックの決定の際は、必ず区と協議すること。
 ※4: 塗装仕上げによる場合は、めっき面に腐蝕亜鉛処理などの下地処理を行って塗装する。
 この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302 Z 27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20μmを確保すること。
 ※5: 溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ 55に準ずるものとする(金具類はHDZ 35)。ケーブルについては、JIS G 3525に準ずる。

始点末端部
平面図

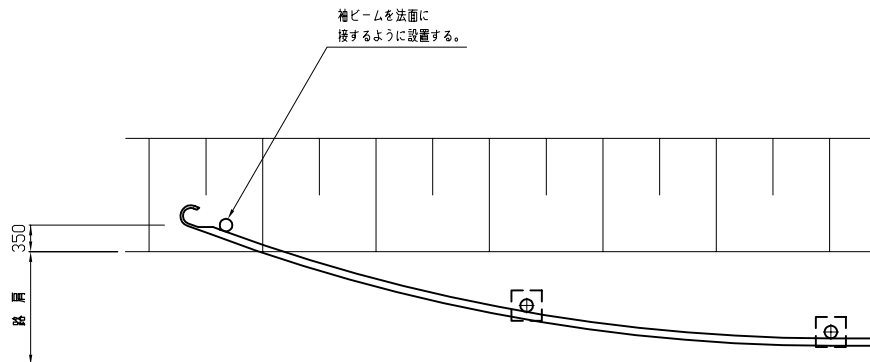
図面番号
名称

05-02-03
端末防護ガードレール(分離区間)
(始点側・各タイプ共通)

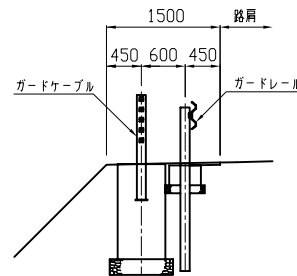
単位: mm



(ガードレール端部が切土の場合)



断面図



	ランク 2	ランク 3	タイプ
L1	4@4000	5@3000	土中埋込 B種
	5@3000	8@2000	土中埋込 C種
	8@2000	8@2000	コンクリート埋込 B種、C種
L2	25500	21500	

注意事項

- ・ 端末防護ガードレールの規格及び積雪ランク等についてはガードケーブルと同一規格とする。

	ランク 2	ランク 3	タイプ
L1	4φ4000	5φ3000	土中建込 B種
	5φ3000	8φ2000	土中建込 C種
	8φ2000	8φ2000	コンクリート建込 B種、C種
L2	25500	21500	

図面番号
名称

05-02-04
 端末防護ガードレール(非分離区間)
 (始点側・各タイプ共通)

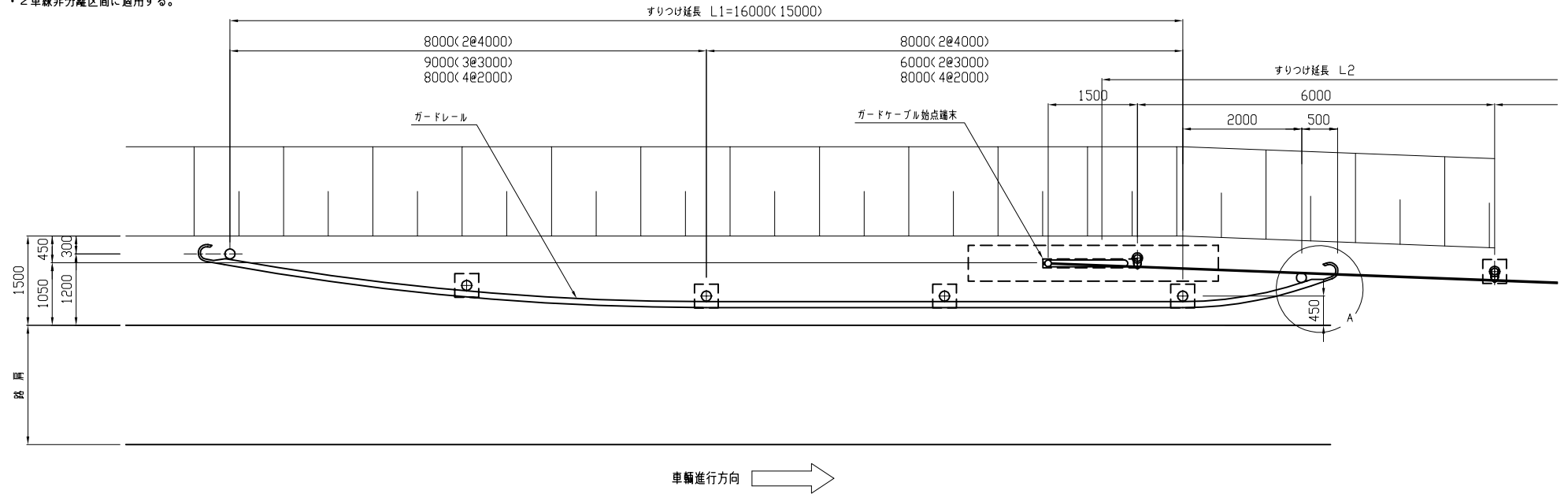
単位: mm

始点 端末部

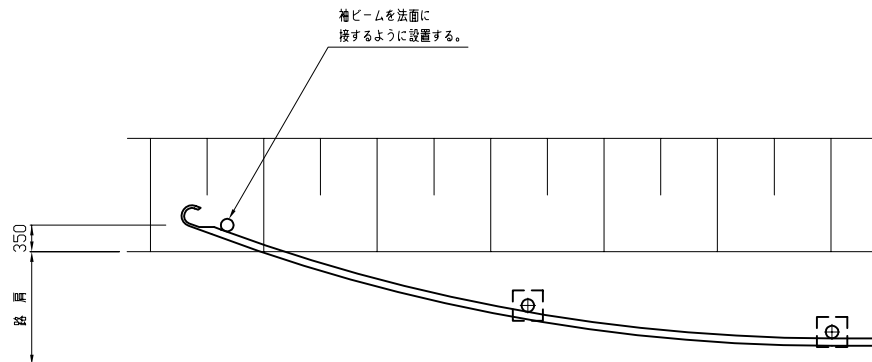
平面図

注意事項

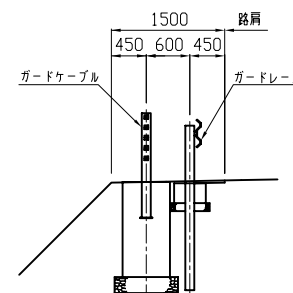
- ・ 端末防護ガードレールの規格及び積雪ランク等についてはガードケーブルと同一規格とする。
- ・ 2車線非分離区間に適用する。



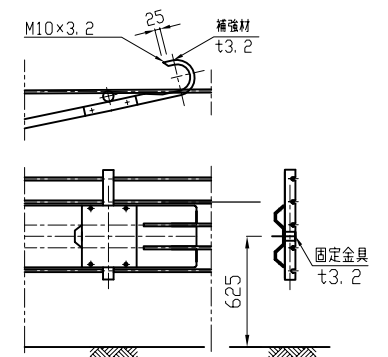
(ガードレール 端部が切土の場合)



断面図



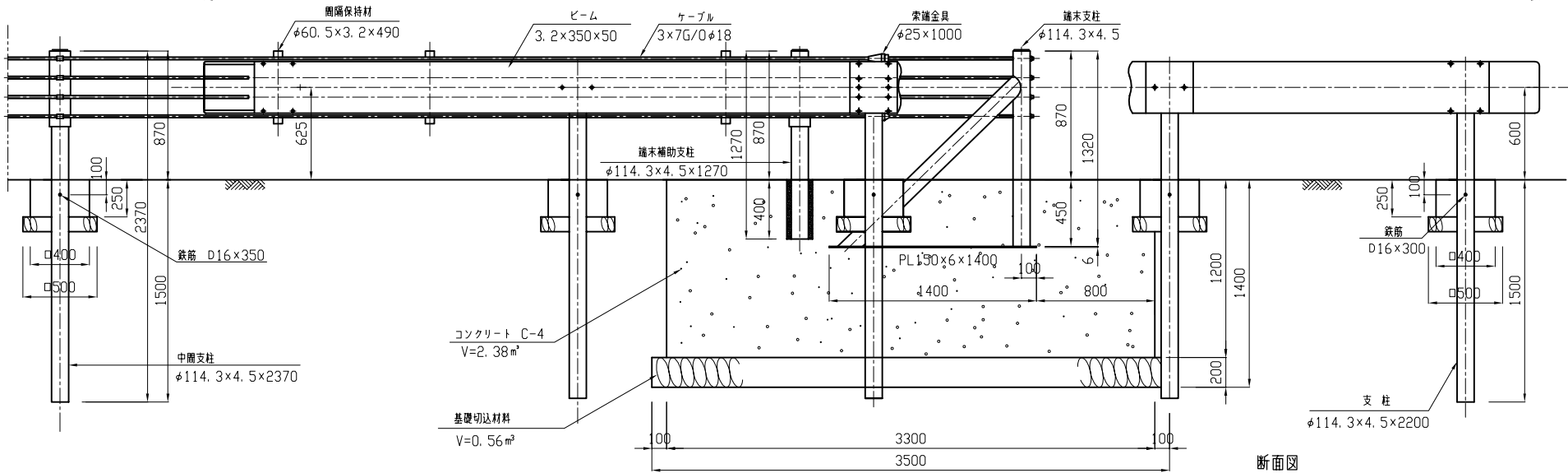
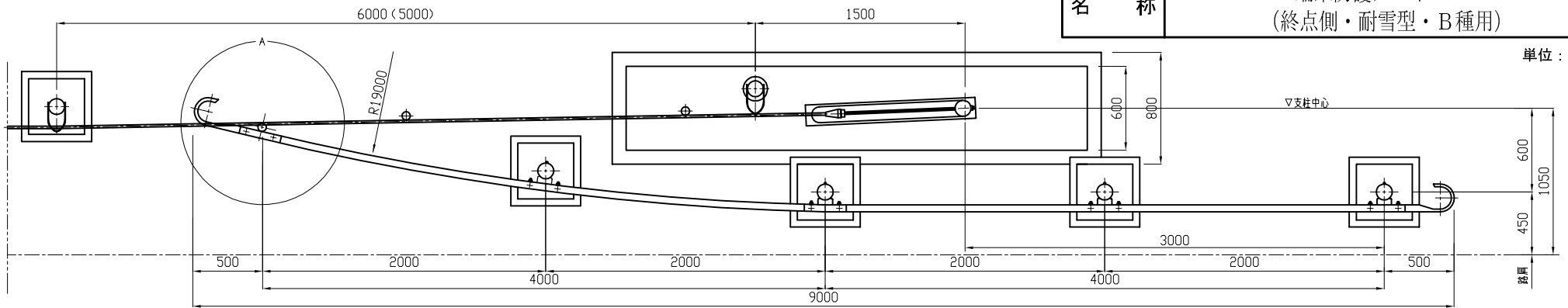
A部詳細図



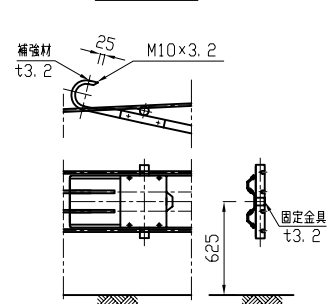
図面番号
名称

05-02-05
 端末防護ガードレール
 (終点側・耐雪型・B種用)

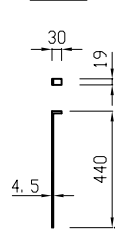
単位: mm



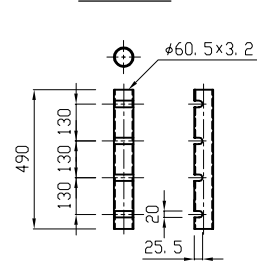
A部詳細図



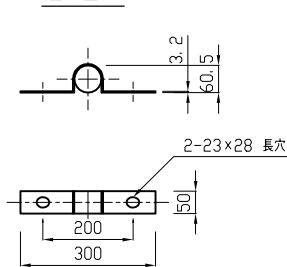
ピン



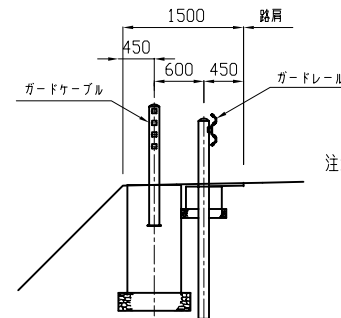
間隔保持材



固定金具



断面図



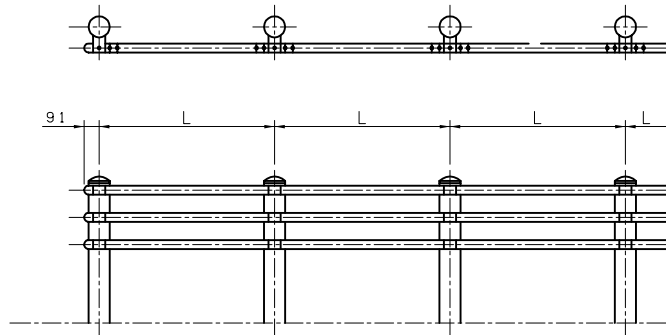
注意事項

- ・ 端末防護ガードレールの規格及び積雪ランク等についてはガードケーブルと同一規格とする。ただし支柱間隔については2m間隔とする。
- ・ () 内は積雪ランク3の場合。
- ・ 土の単位体積重量 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$

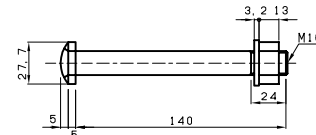
図面番号
名称

05-03-01
ガードパイプ 歩車道境界用
耐雪型 C種 土中用 Gp-Cp2-1E
構造物用 Gp-Cp2-1B

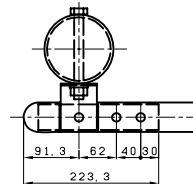
単位：mm



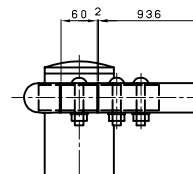
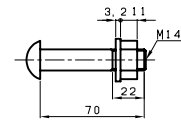
ブラケット取付用ボルト、ナット、ワッシャー



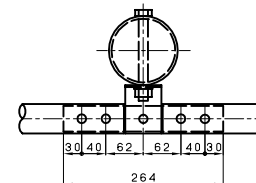
パイプ端部詳細



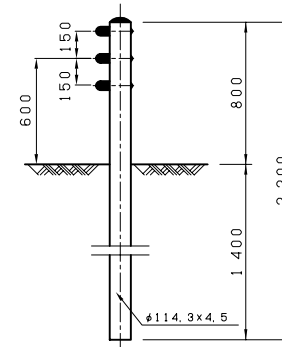
パイプ取付用ボルト、ナット、ワッシャー



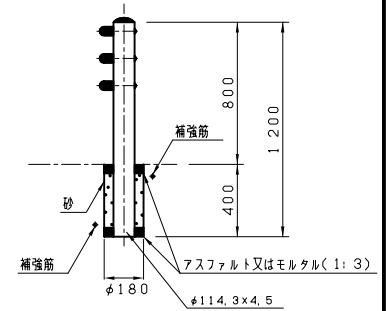
パイプ継手部詳細



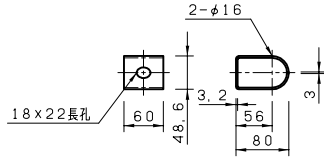
Gp-Cp2-1E



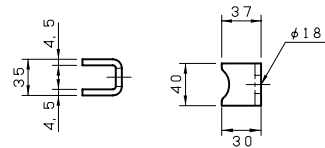
Gp-Cp2-1B



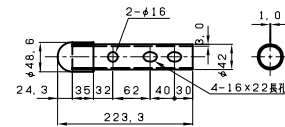
継手ブラケット (SS400)



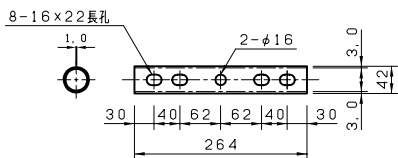
耐雪型補強金具 (SS400)



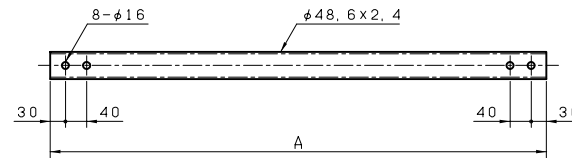
袖パイプ



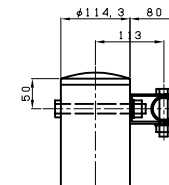
(継手パイプ)
インナースリーブ (SS400)



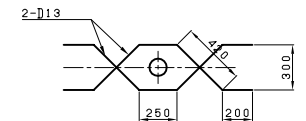
(パイプ)
ビーム (STK400)



B-B断面図



配筋 ※Gp-Cp2-1B



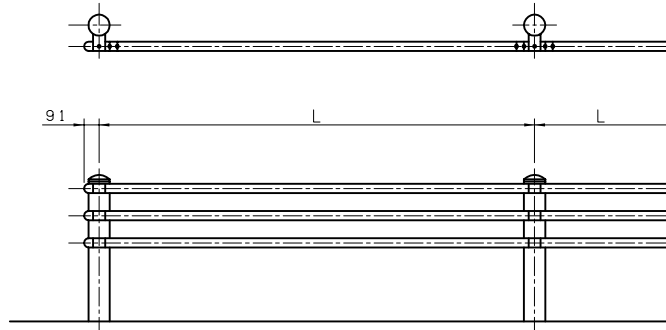
仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車面の最大進入行程 (m)	車面重心加速度 (m/s ² /10ms)	仕様の適用範囲		寸法表		備考
							形状・寸法の変更	支持条件の変更	L (mm)	A (mm)	
Gp-Cp2-1E	Cp	45	歩車道境界用耐雪型	図示	0.00	75	※1		1000	936	
Gp-Cp2-1B									1000	936	

- ※1 形状・寸法・支持条件の変更については、建設省適達、車面用防護欄標準仕様に準拠する。
- ※2 塗装仕上げによる場合は、メッキ面に腐蝕面処理などの下地処理を行って塗装する。
この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302に示されているZ27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20μmを確保すること。
- ※3 溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ 55に準ずるものとする(金具類はHDZ 35)。

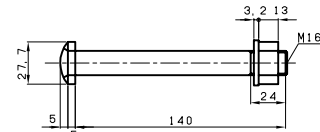
図面番号
名称

05-03-02
ガードパイプ 歩車道境界用
耐雪型 B種 土中用 Gp-Bp2-1E
構造物用 Gp-Bp2-1B

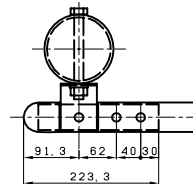
単位：mm



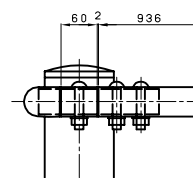
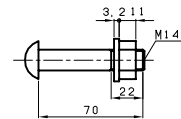
ブACKET取付用ボルト、ナット、ワッシャー



パイプ末端部詳細

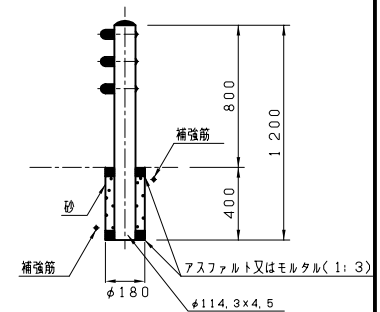
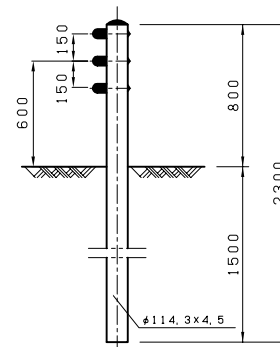


パイプ取付用ボルト、ナット、ワッシャー



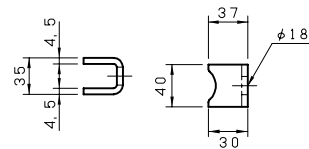
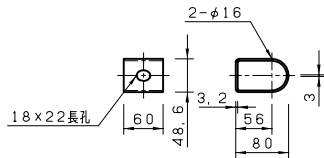
Gp-Bp2-1E

Gp-Bp2-1B

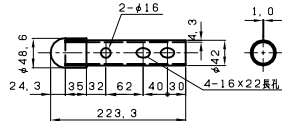


継手ブACKET (SS400)

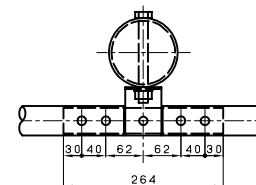
耐雪型補強金具 (SS400)



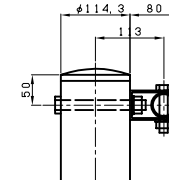
袖パイプ



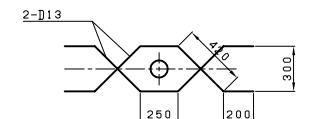
パイプ継手部詳細



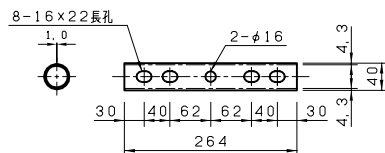
B-B断面図



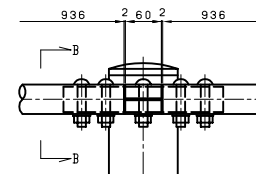
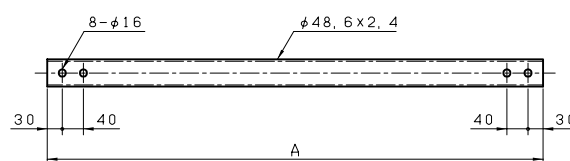
配筋 *Gp-Bp2-1B



(継手パイプ)
インナー Sleeve (SS400)



(パイプ)
ビーム (STK400)



仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車面の最大進入行程 (m)	車面重心加速度 (m/s ² / 10ms)	仕様の適用範囲		寸法表		備考
							形状・寸法の変更	支持条件の変更	L (mm)	A (mm)	
Gp-Bp2-1E	Bp	60	歩車道境界用 耐雪型	図示	0.00	78	別紙1参照		1000	936	
Gp-Bp2-1B									1000	936	

- *1 形状・寸法・支持条件の変更については、建設省通達、車面用防護欄標準仕様に準拠する。
- *2 塗装仕上げによる場合は、メッキ面に腐蝕面処理などの下地処理を行って塗装する。
この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302に示されているZ27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20μmを確保すること。
- *3 溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ 55に準ずるものとする(金具類はHDZ 35)。

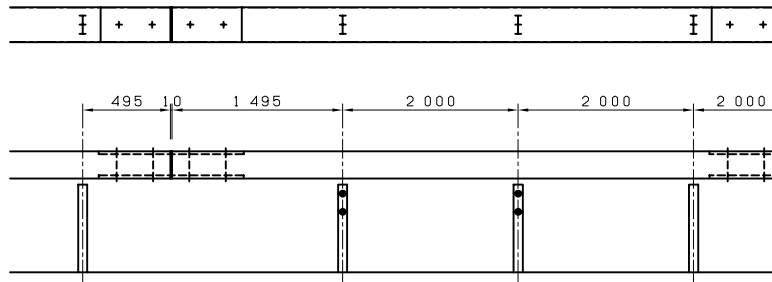
図面番号
名称

05-04

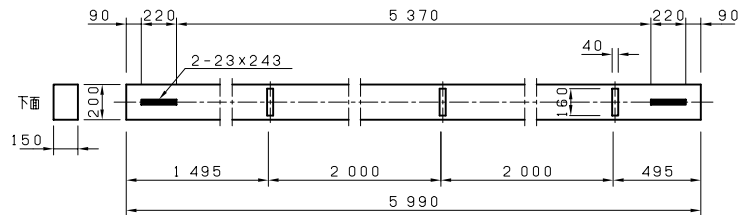
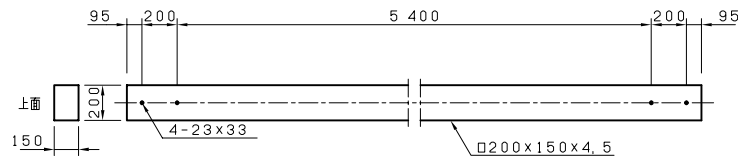
ボックスビーム
標準型 B種 土中用
構造物用

Gb-Bm-2E
Gb-Bm-2B

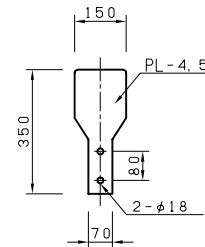
単位: mm



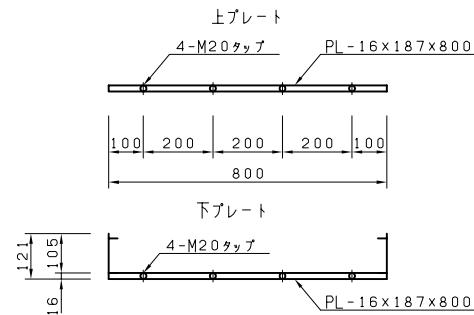
ビーム (STKR400)



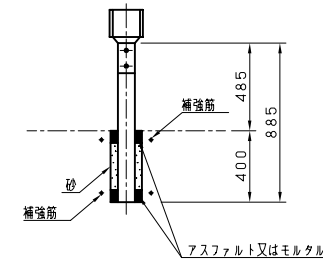
パドル (SS400)



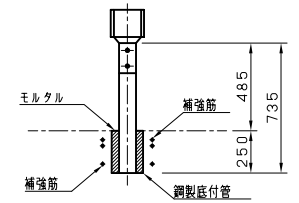
ジョイント (SS400)



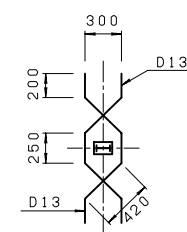
Gb-Bm-2B



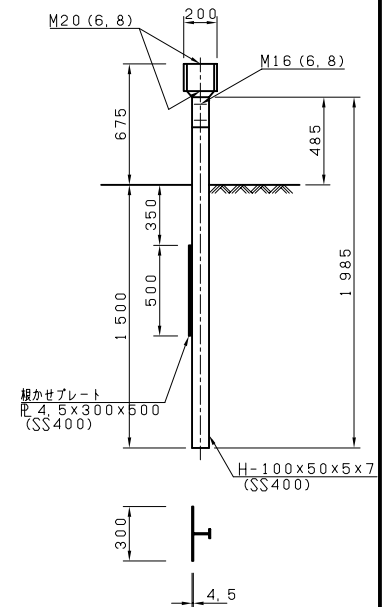
Gb-Bm-2B-2



配筋図



Gb-Bm-2E



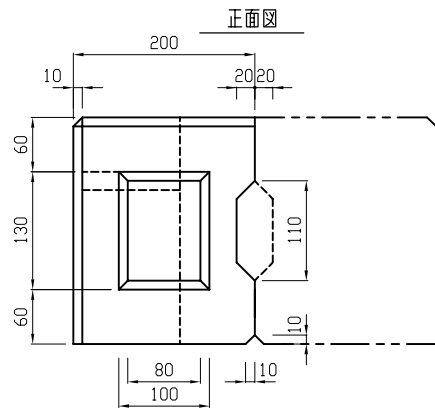
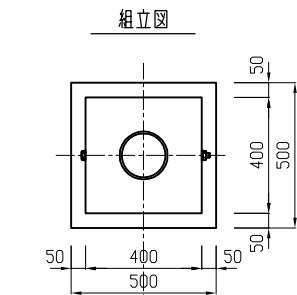
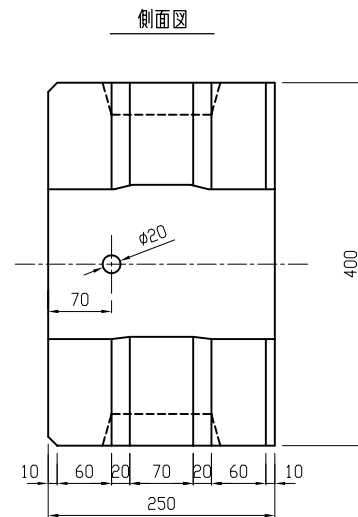
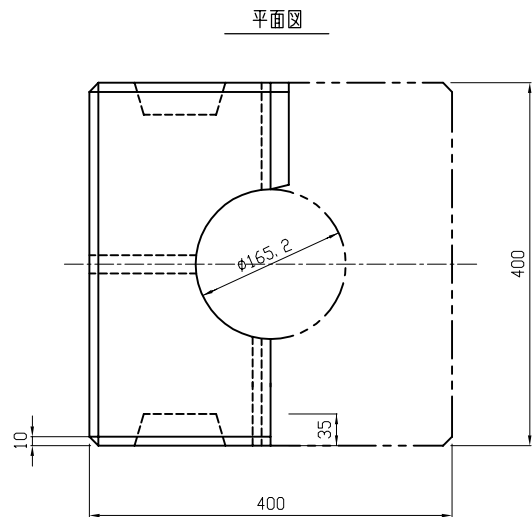
仕様記号	種別	衝撃度 (kJ)	主な用途	支持条件	車両の最大進入行程 (m)	車両重心加速度 (m/s ² / 10ms)	仕様の適用範囲		備考
							形状・寸法の変更	支持条件の変更	
Gb-Bm-2E	Bm	60	分離帯用	図示	0.00	68	別紙1参照		
Gb-Bm-2B									

- *1 形状・寸法・支持条件の変更については、建設省通達、車両用防護欄標準仕様に基づきます。
- *2 塗装仕上げによる場合は、メッキ面に腐蝕亜鉛処理などの下地処理を行って塗装する。
この場合、亜鉛の付着量はJIS G 3302に示されているZ27以上とし、塗装は熱硬化性アクリル樹脂系塗料、熱硬化ポリエステル樹脂系塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し、塗膜厚は最小20μmを確保すること。
- *3 溶融亜鉛メッキ仕上げとする場合、亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ 55に準ずるものとする(金具類はHDZ 35)。

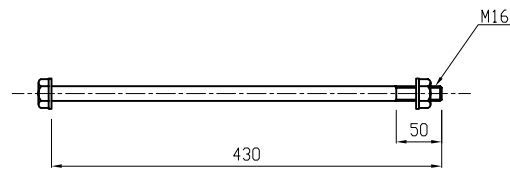
図面番号
名称

05-05
根固めブロック
(耐雪型ガードレール、ガードケーブル用)

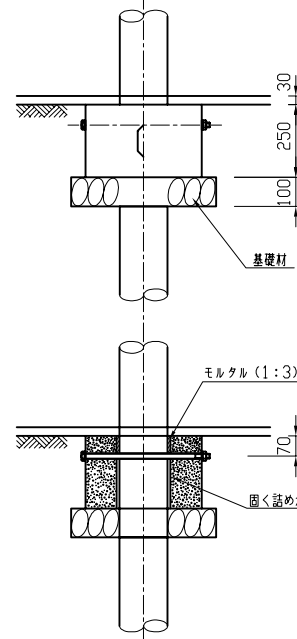
単位: mm



組平用ボルト・ナット・ワッシャー



備考
組立用ボルト、ナット、ワッシャーはJIS H8641
「溶接亜鉛メッキ」2種 (HDZ35) の350g/m²
(片面の付着量) 以上とする。



材料表

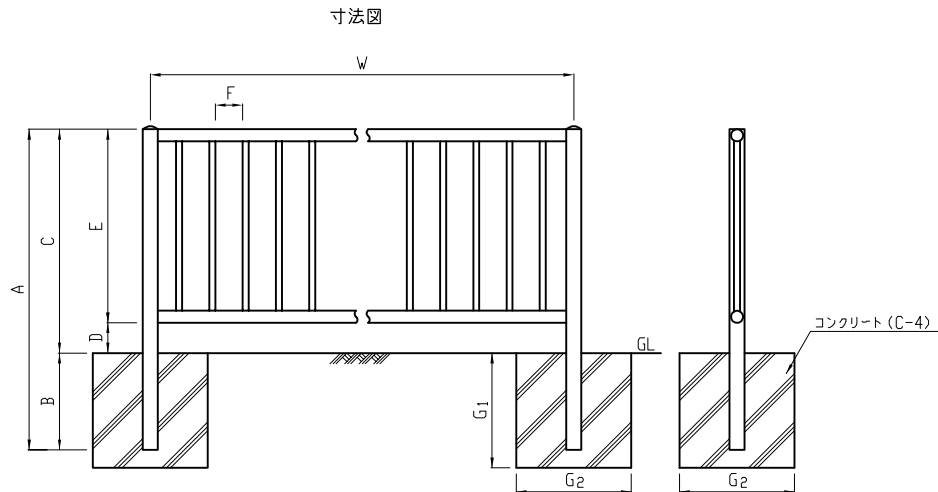
(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	適要
コンクリート基礎	0, 40×0, 40×0, 25	箇所	1	設計基準強度18N/mm ²
床仕上げ		m ²	0.25	
基礎材	敷厚10cm	m ²	0.25	

図面番号
名称

05-06-01
耐雪型パネル式転落防止柵寸法図 (参考)

単位 : cm



耐雪型パネル式転落防止柵構造諸元

寸法表

(単位 : cm)

規格	A	B	C	D	E	F	W	G ₁	G ₂
H 60	90	30	60	10	50	11	150	30 (60)	40 (40)
H 80	120	40	80	10	70	11	200	40 (80)	40 (40)
H 90	130	40	90	10	80	11	200	40 (80)	40 (40)
H 100	140	40	100	10	90	11	200	40 (80)	40 (40)
H 110	150	40	110	10	100	11	200	40 (80)	40 (40)

(注) 1. () 内の値は路肩削方余裕10cm以上50cm未満、
法勾配1割5分以上で中位以上の地耐力を有する土質条件
(N値10程度の砂質地盤)の場合である。

種別	諸元 支 係 柱 断 面 数 (cm ² 以上)	ビ 断 面 係 数 (cm ² 以上)	縦 格 子 (cm ² 以上)	地 側 面 の 高 (cm)	地 下 端 の 高 (cm以下)	支 柱 間 隔 (m)	縦 空 間 間 隔 (cm以下)	支 埋 込 み 柱 深 (cm以上)	参 考 部 材		
									支 柱	ビーム	格 子
60型	7.82 (3.9)	2.8 (2.7)	0.10 (0.10)	60	10	1.5	11	30	60.5×t3.2 50×50×t3.2 75×45×t3.2等	φ42.7×t2.3等	φ21.7×t1.9 19×19×t1.6 BR φ10.13等
80型	7.82 (6.8)	4.72 (4.2)	0.10 (0.10)	80	10	2.0	11	40	”	φ48.6×t3.2 50×50×t2.3 60×30×t3.2等	”
90型	7.82 (7.1)	4.72 (4.0)	0.10 (0.10)	90	10	2.0	11	40	”	”	”
100型	7.82 (7.2)	4.72 (3.7)	0.22 (0.11)	100	10	2.0	11	40	”	”	φ21.7×t1.9 19×19×t1.6 BR φ13等
110型	7.82 (7.3)	4.72 (3.4)	0.22 (0.11)	110	10	2.0	11	40	”	”	”

(注) 1. 支柱の最小径はφ60.5×t3.2 (Z=7.84)とし、ビームの最小径はφ42.7×t2.3 (Z=2.8)としているため、
上記表にて断面係数がこれ以下のものについては、支柱の場合でZ=7.84以上、ビームの場合でZ=2.8以上のものを使用すること。
2. 支柱が角形鋼管の最小は、75×45×t2.3 (Zx=10.4, Zy=7.82)とする。
3. () 内の数値は、計算値

寸法表 (H120~H300)

規格	A	B	C	W	D	E	F	L	G ₁	G ₂	G ₃	H	概要
H 120	1,420 ~1,500	200 ~300	1,170	1,000	-	-	-	-	300	300	-	1	控柱なしの場合
H 150	1,770 ~1,810	250 ~300	1,470	1,000	-	-	-	-	300	300	-	2	"
H 180	2,070 ~2,200	250 ~400	1,770	1,500	-	-	-	-	400	300	-	2	"
H 200	2,270 ~2,400	250 ~400	1,970	1,800	-	-	-	-	400	400	-	2~3	"
H 250	2,820 ~3,000	300 ~500	2,470	1,800	-	-	-	-	400	400	-	3~4	"
H 300	3,365 ~3,500	350 ~500	2,970	1,800	-	-	-	-	450	400	-	3~5	"
H 120	1,420 ~1,500	200 ~300	1,170	1,000	280 ~350	285 ~320	200 ~300	-	300	550	600	1	控柱隔本毎
H 150	1,770 ~1,810	250 ~300	1,470	1,000	300 ~350	315 ~325	220 ~300	-	300	550	600	2	"
H 180	2,070 ~2,200	250 ~400	1,770	1,500	300 ~400	450 ~480	220 ~400	-	400	550	600	2	"
H 200	2,270 ~2,400	250 ~400	1,970	1,800	300 ~400	550 ~560	250 ~400	-	400	550	600	2~3	"
H 250	2,820 ~3,000	300 ~500	2,470	1,800	300 ~500	740	250 ~500	-	400	650	600	3~4	"
H 300	3,365 ~3,500	350 ~500	2,970	1,800	300 ~500	940 ~955	260 ~500	-	450	700	800	3~5	"

寸法表 (H400~H1,000)

単位：mm

規格	A	B	C	G ₁	G ₂	H
H 400	~	~	3,970	700 (550)	500 (500)	
H 500	~	~	4,970	800 (750)	600 (600)	
H 600	~	~	5,970	900 (700)	800 (800)	
H 700	~	~	6,970	1,000 (800)	900 (900)	
H 800	~	~	7,970	1,100 (900)	1,100 (1,100)	
H 900	~	~	8,970	1,200 (1,000)	1,000 (1,000)	
H1,000	~	~	9,970	1,300 (1,100)	1,200 (1,200)	

- (注) 1. この銘柄は控柱の有無、塗装の種類に関係なく、部材規定により決定するものである。
 2. この銘柄は支柱間隔W=200cm又はW=300cmのものである。
 () 内の数値は、支柱間隔W=200cmの場合の値である。
 3. 使用に当たっては必ずカタログで確認すること。
 4. Hは中間8#骨線の段数である。

耐雪型ネットフェンス構造諸元

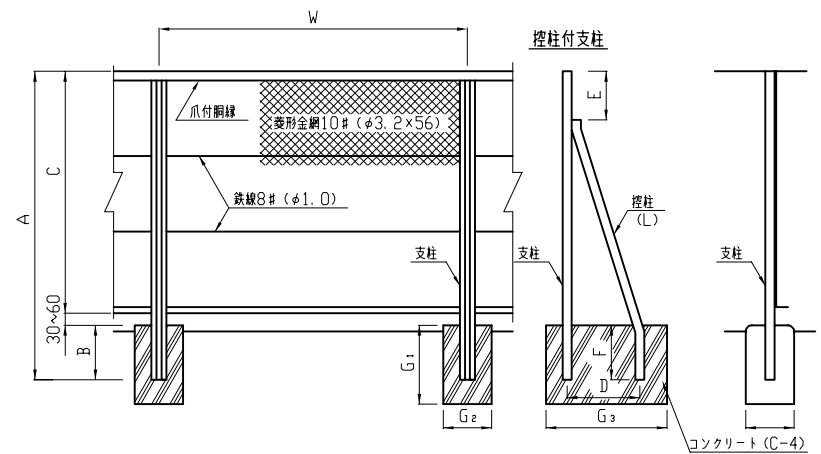
種別	諸元 支断面系 柱数 (cm ² 以上)	胴断面系 縁数 (cm ² 以上)	骨線 (φmm以上)	縦骨線 (φmm)	金網			上端 端縁高 (m)	下端 端縁高 (m以下)	支柱間隔 (m)	参考断面	
					太さ 鉄心 (mm)	自体の 径 (mm以下)	網目 (mm以下)				支柱	胴縁
120型	2.5	2.46	4	6			56	1.20	0.10	1.00	□、○、△、▽	└、○
150型	2.5	1.71	4	6			56	1.50	0.10	1.00	"	"
180型	4.5	2.3	4	6			56	1.80	0.10	1.50	"	"
200型	6.0	1.88	4	6			56	2.00	0.10	1.80	"	"
250型	7.5	1.88	4	6			56	2.40	0.10	1.80	"	"
300型	9.0	1.88	4	6			56	3.00	0.10	1.80	"	"
400型	(19.2) (28.8)	3.12	4	6			56	4.00	0.10	(2.00) (3.00)	□	└
500型	(33.5) (50.5)	3.12	4	6			56	5.00	0.10	(2.00) (3.00)	"	"
600型	(52.9) (76.4)	3.12	4	6			56	6.00	0.10	(2.00) (3.00)	"	"
700型	(77.8) (116.7)	3.12	4	6			56	7.00	0.10	(2.00) (3.00)	"	"
800型	(108.6) (165.8)	3.12	4	6			56	8.00	0.10	(2.00) (3.00)	"	"
900型	(148.9) (218.9)	3.12	4	6			56	9.00	0.10	(2.00) (3.00)	"	"
1,000型	(189.7) (284.6)	3.12	4	6			56	10.00	0.10	(2.00) (3.00)	"	"

図面番号
名称

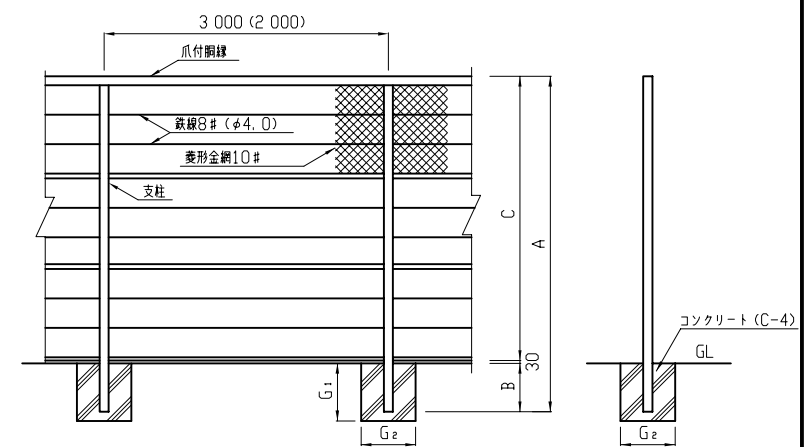
05-06-02
耐雪型ネットフェンス寸法図 (参考)

単位：mm

寸法図 (H120~H300)



寸法図 (H400~H1,000)



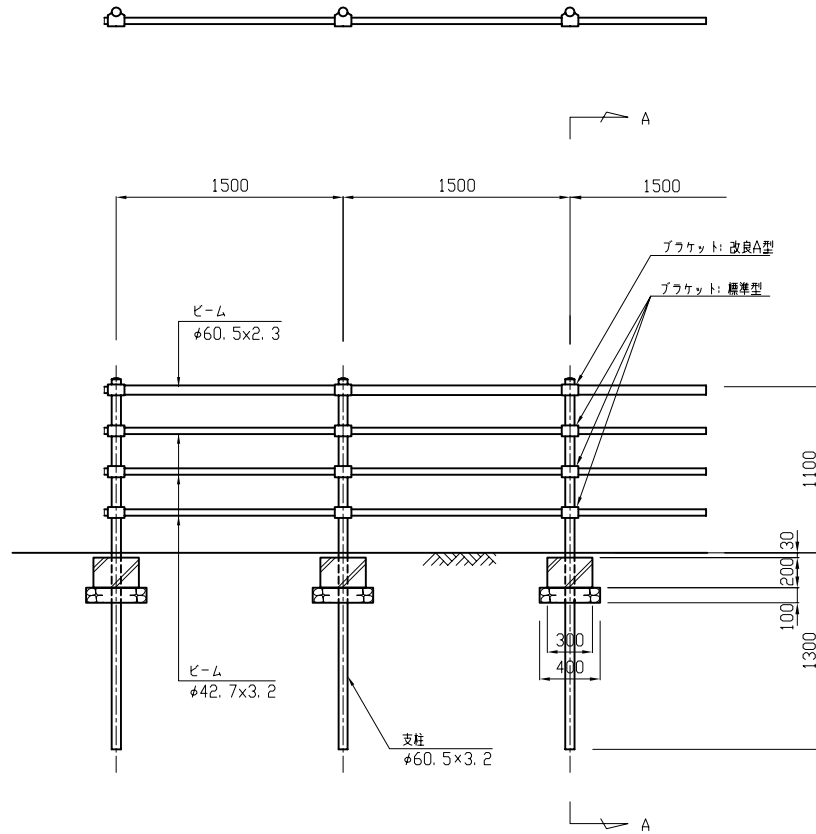
- (注) 1. H300型で、地盤柱を必要とする場合は、支柱の断面を変えず隔本器に設けるものとする。
 2. H400以上については、状況に応じて、単柱か複柱の製品が使用すること。
 3. () 内の数値は支柱間隔W=200cm

図面番号
名称

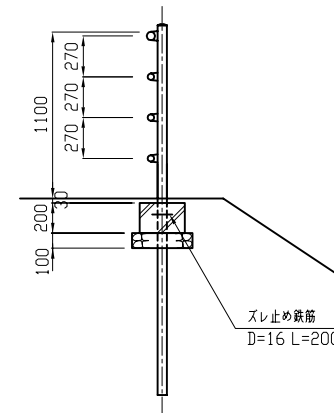
05-06-04
転落防止柵
横ビーム型、柵高1.1m、土中建込、
積雪ランク2、支柱間隔1.5m

単位：mm

平面、立面図



A-A断面



材料表

(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	適要
コンクリート基礎	0,30×0,30×0,20	箇所	1	
床仕上げ		m ²	0,16	
基礎材	敷厚10cm	m ²	0,16	

注意事項

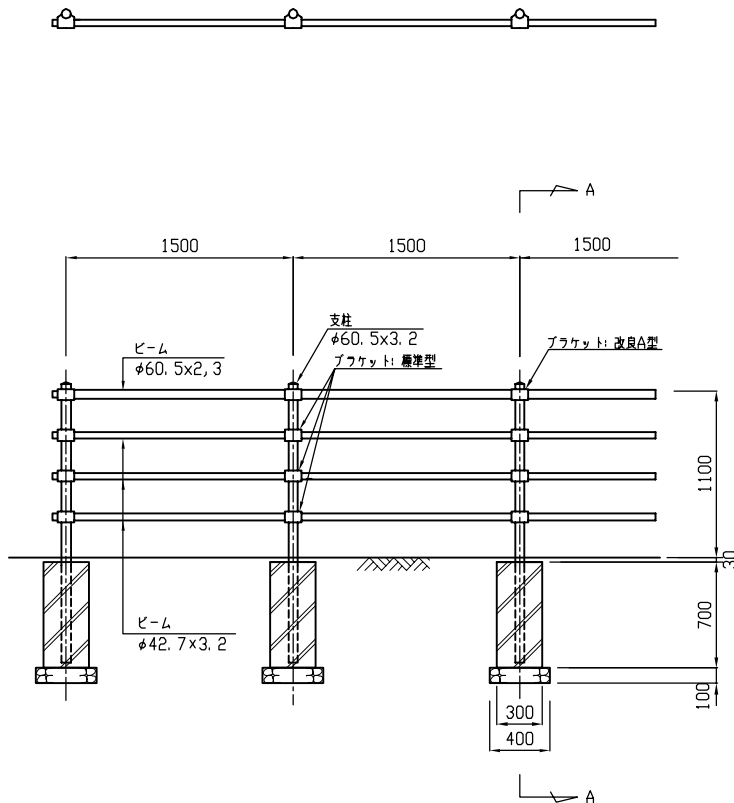
- 塗装仕上は下地亜鉛メッキ(Z27以上)+粉体塗装又は焼付塗装(20μ以上)とする。
- メッキ仕上は、JIS H 8641, 2種による。

図面番号
名称

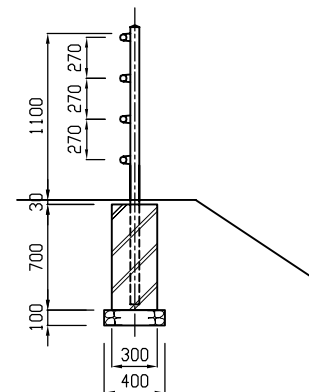
05-06-05
転落防止柵
横ビーム型、柵高1.1m、
プレキャストコンクリートブロック建込、
積雪ランク2、支柱間隔1.5m

単位：mm

平面、立面図



A-A断面



材料表

(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	適要
コンクリート基礎	0,30×0,30×0,70	箇所	1	設計基準強度18N/mm ²
床仕上げ		m ²	0,16	
基礎材	敷厚10cm	m ²	0,16	

注意事項

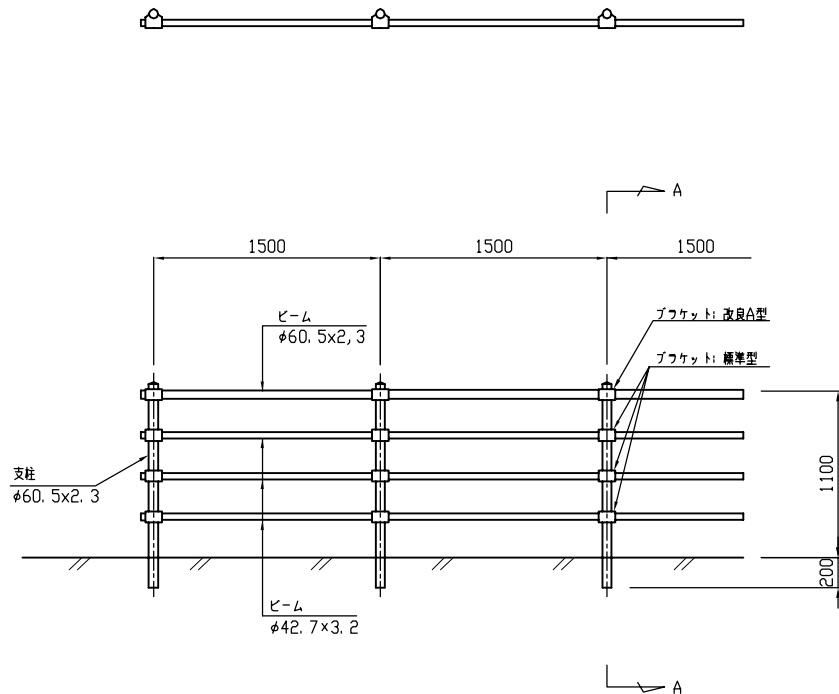
1. 塗装仕上は下地亜鉛メッキ(Z27以上)+粉体塗装又は 焼付塗装(20μ以上)とする。
2. メッキ仕上は、JIS H 8641, 2種による。

図面番号
名称

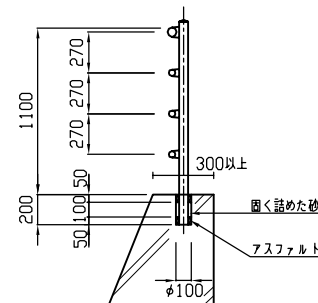
05-06-06
転落防止柵
横ビーム型、柵高1.1m、コンクリート建込
積雪ランク2、支柱間隔1.5m

単位：mm

平面、立面図



A-A断面



注意事項

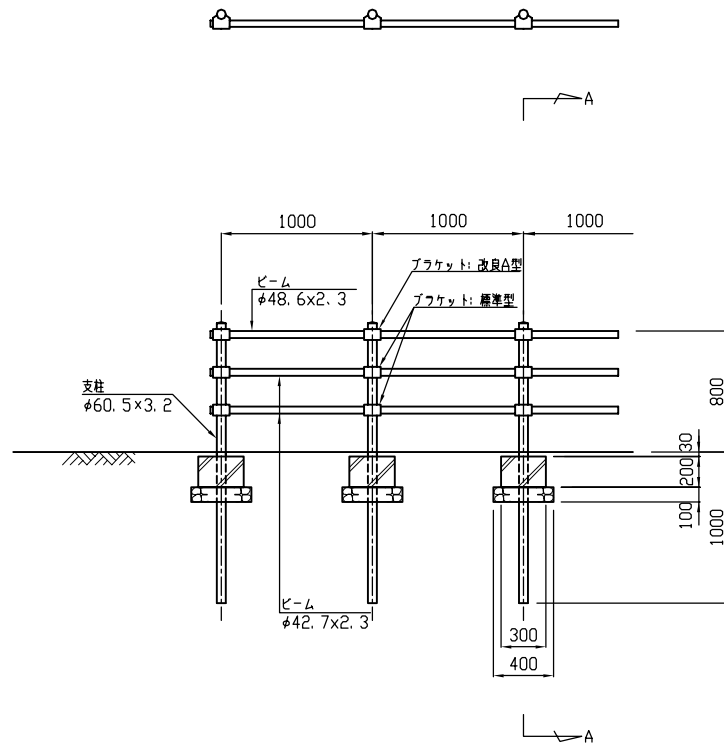
- 1, 塗装仕上は下地面鉛メッキ(Z27以上)+粉体塗装又は焼付塗装(20μ以上)とする。
- 2, メッキ仕上は、JISH8641, 2種による。

図面番号
名称

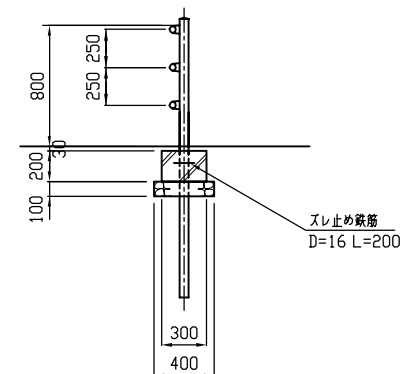
05-06-07
横断防止柵
横ビーム型、柵高0.8m、土中建込、
積雪ランク2、支柱間隔1.0m

単位：mm

平面、立面図



A-A断面



材料表

(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	適要
コンクリート基礎	0,30×0,30×0,20	箇所	1	
床仕上げ		m ²	0,16	
基礎材	敷厚10cm	m ²	0,16	

注意事項

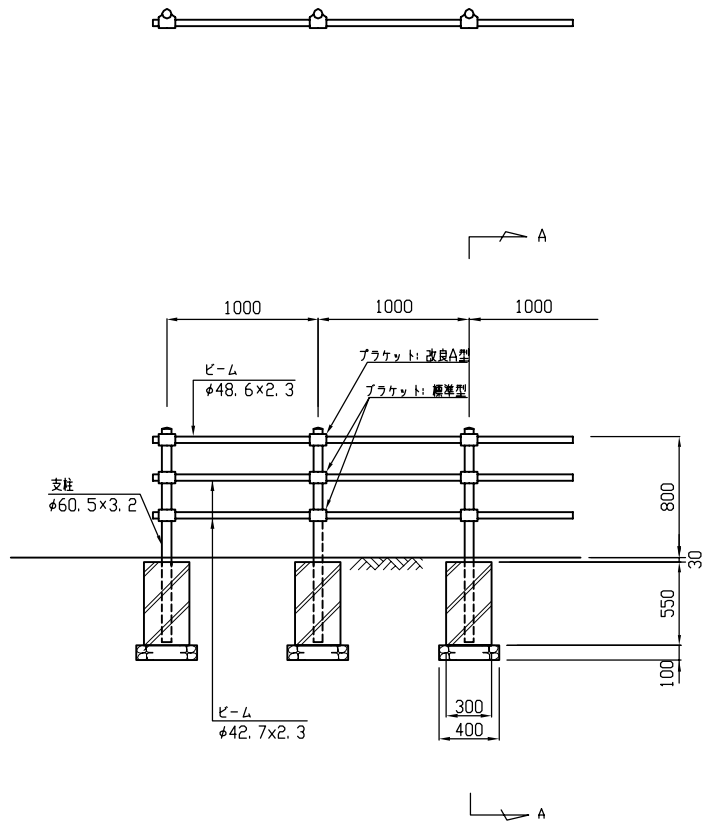
- 塗装仕上は下地亜鉛メッキ(Z27以上)+粉体塗装又は焼付塗装(20μ以上)とする。
- メッキ仕上は、JIS H 8641, 2種による。

図面番号
名称

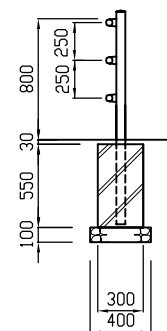
05-06-08
横断防止柵
横beam型、柵高0.8m
プレキャストコンクリートブロック建込、
積雪ランク2、支柱間隔1.0m

単位：mm

平面、立面図



A-A断面



材料表

(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	適要
コンクリート基礎	0,30×0,30×0,55	箇所	1	設計基準強度18N/mm ²
床仕上げ		m ²	0,16	
基礎材	敷厚10cm	m ²	0,16	

注意事項

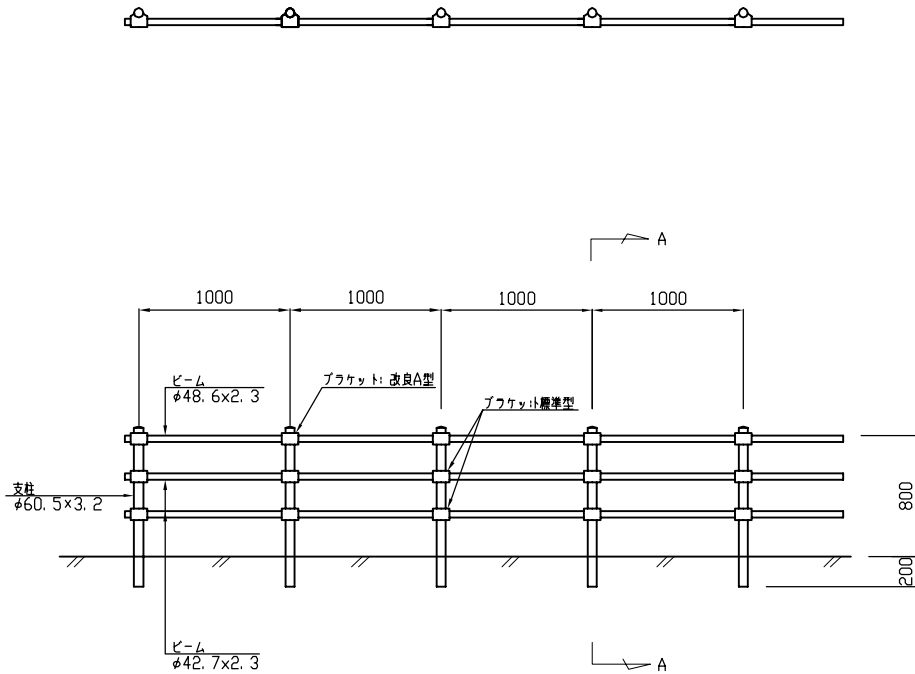
1. 塗装仕上は下地亜鉛メッキ(Z27以上)+粉体塗装又は焼付塗装(20μ以上)とする。
2. メッキ仕上は、JIS H 8641, 2種による。

図面番号
名称

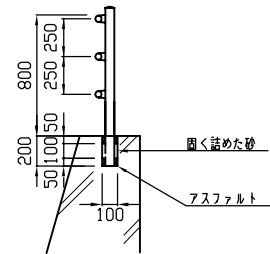
05-06-09
横断防止柵
横ビーム型、柵高0.8m、コンクリート建込
積雪ランク2、支柱間隔1.0m

単位：mm

平面、立面図



A-A断面



注意事項

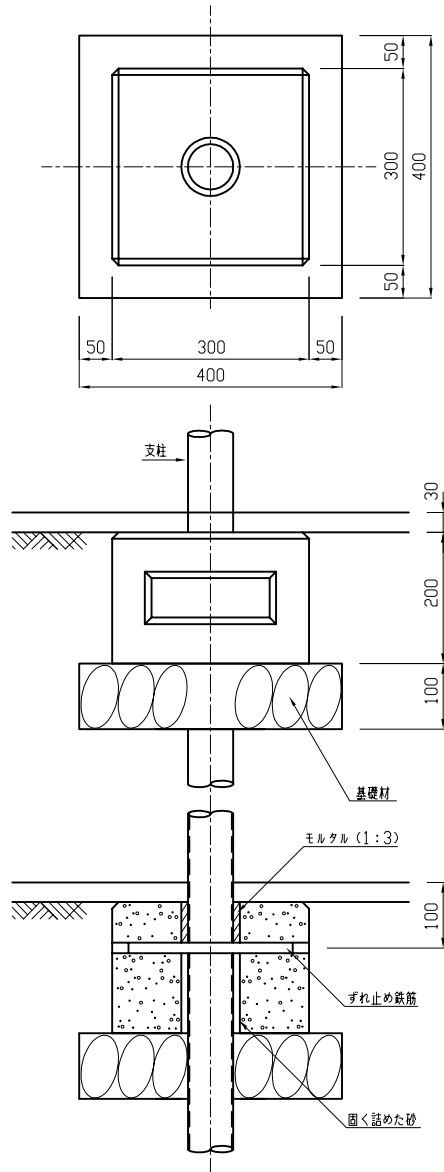
1. 塗装仕上は下地亜鉛メッキ (Z27以上) + 粉体塗装又は焼付塗装 (20μ以上) とする。
2. メッキ仕上は、JIS H 8641, 2種による。

図面番号
名称

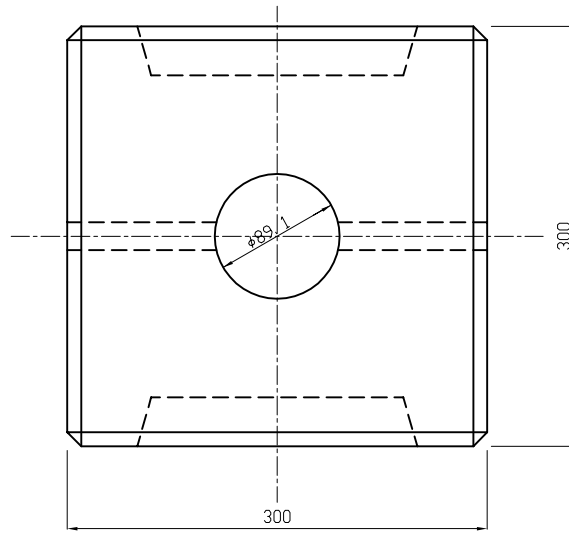
05-06-10
根固めブロック
(耐雪型、歩道用)

単位: mm

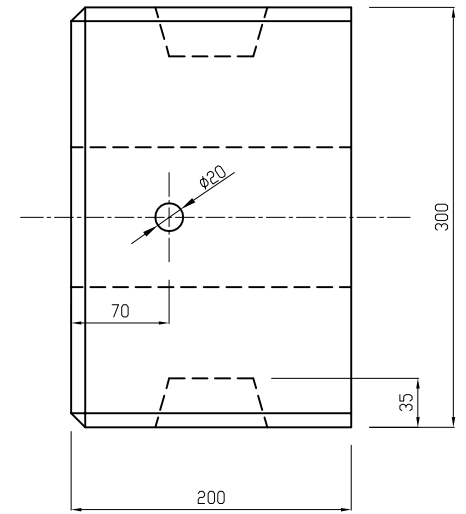
組立図



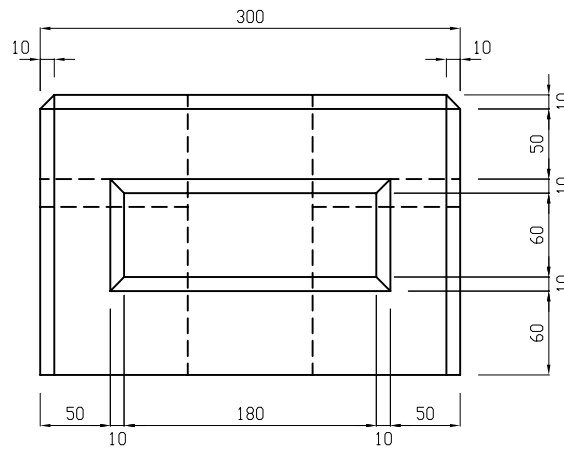
平面図



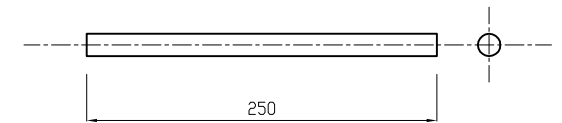
側面図



正面図



ずれ止め鉄筋
D-16



材料表

(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	適要
コンクリート基礎	0.30×0.30×0.20	箇所	1	設計基準強度18N/mm ²
床仕上げ		m ²	0.16	
基礎材	敷厚10cm	m ²	0.16	

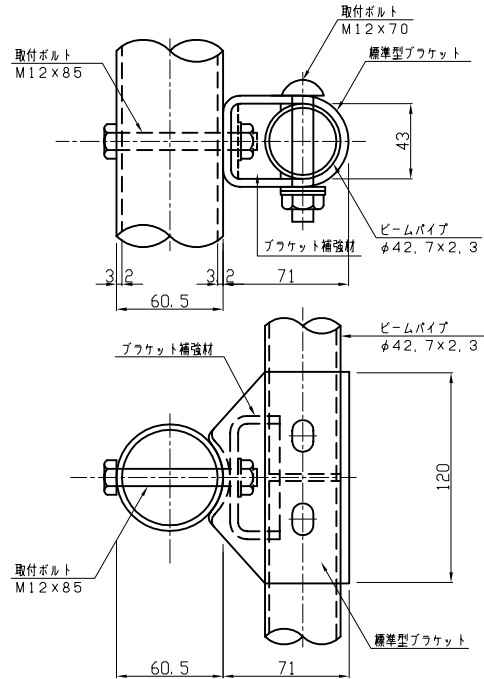
図面番号
名称

05-06-11
改良型ブラケットの形状、
保護路肩路盤工

単位：mm

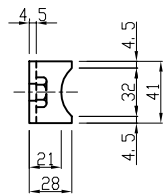
改良型ブラケットの形状（改良A型）

※但し、ビームパイプφ42、7×2、3の場合

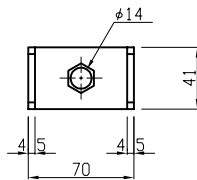


補強材詳細図

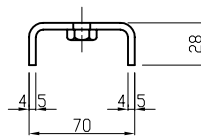
側面



正面

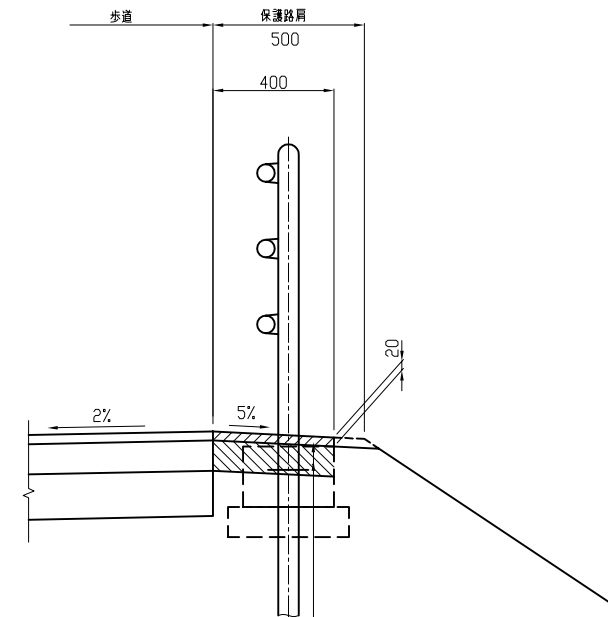


平面



注意事項：ナットは補強材に点溶接とする。

保護路肩路盤工



細粒度アスコン t=3cm
路盤材 (t=10cm程度)